

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋 賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



2016/08/13

▲ 総門 (そくもん) 名古屋指定文化財 (昭和六十年指定)

慶安四年 (1651) 創建
当時の建築物
で総構造り
三間築医師の
建築様式で本
瓦葺きである。
廻りは三門が
見える。



2016/08/13

▶ 三門・山門(さむら)名古屋指定文化財
扉の三葉葵の徳川の紋は迫力があります。

内部の
銀眼簾
美耐放火
蔵経五千
八百巻が納
められ、実
際には輪蔵
古図巻の
仕立が
下まると
なっている。

建中寺は慶安三年(1650)に逝去
した初代尾張藩主義直卿(家康の九男)
の菩提を弔い、尾張徳川家先祖代々の
菩提寺として、また尾張藩主への人々
の心のよりどころとするために、第二代尾張
藩主徳川光友卿が、慶安四年(1651)
境内地約五万坪(約165,000㎡)敷地に
本堂をはじめとして諸堂伽藍數十棟を
建立し、茨城県結城市私経寺の成増廓
谷上人を招請して開山した。
多くの建築物が後知集指定文化財、名古屋中
指定文化財、文化庁登録文化財などの
指定も受けている。

尾張徳川家 ゆかりのお寺 徳要山建中寺



2016/08/13

▲ 御霊屋 (ごれいや) 愛知県指定文化財 (昭和五十二年指定)

本殿内には、尾張徳川家
代々の藩主の位牌が
安置され、一代一戸尉子
の字に納められている。
天明七年(1787)
大火の後に再建された
もので、入母屋造り
本瓦葺きで格調高
く古式も保っている。
巨大な木造建築で、
現在名古屋市内の木造
建築物としては最大の
ものである。



2016/08/13

▲ 経蔵 (きやうぞう) 名古屋指定文化財

▶ 本堂 (ほんどう) 名古屋指定文化財
(平成二十二年指定)



2016/08/13